

# がまごおり 「みらいキャンバス」 第4回市民ワークショップ

蒲郡市教育委員会 教育政策課

2025.6.22

【支援事業者】(株)シアターワークショップ

【協力企業】(株)図書館総合研究所、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)

(有)マル・アーキテクチャ、(株)国際開発コンサルタンツ

# 本日のスケジュール

- 14:00 ごあいさつ  
イントロダクション
  - ・ 前回のワークショップの振り返り
- 14:05 基本計画の進捗について
- 14:10 市民共創プラットフォームについて
- 14:35 グループワークの進め方
- 14:45 **グループワーク（60分）**
  - ・ 自己紹介
  - ・ テーマ①「みらいキャンバスでやってみたいことをプランにしてみよう！」
  - ・ テーマ②「『拠点』を立ち上げよう！」
- 15:45 -5分休憩-
- 15:50 発表
- 16:25 事務連絡、アンケート記入
- 16:30 閉会

# 前回のワークショップの 振り返り

# 第3回ワークショップの様子

日時 2025年4月20日（日）

会場 蒲郡市民体育センター

参加者 24名

テーマ ①企画書にする「この施設やまちで  
やってみたいこと」を選ぼう  
②市民共創のプラットフォームについて  
グループで話してみよう

内容 冒頭では、第1回・第2回ワークショップの振り返り、基本計画の進捗を共有した。テーマ①では、参加者の皆さんが「やりたい！」と思った、これまでのアイデアから、企画化する活動を考えて。テーマ②では、今後の市民共創のプラットフォーム構築に向けた意見を聞いた。



# テーマ①について

テーマ②については、後ほどお話します！

# 各チームの企画案（発表・ワークシートより）



## あさりチーム

### がまごおり暮らしコンシェルジュ～人と人をつなげます～

- ✓ その地域や施設に行かないと情報が得られないことが多い。そのために地域の行事に参加しづらかったり、地域とつながれていない人がいる。そういう人たちの相談を受けて、誰かを紹介したり、つないでいくための窓口をつくりたい。

# 各チームの企画案（発表・ワークシートより）



## あかざえびチーム

### クリエイティブチャレンジ

- ✓ 施設の名前や緞帳（どんちょう）のデザインの募集など、市民に案を出してもらう。
- ✓ 施設ができたあとにもやれるような活動や、施設内で本から学び、学んだことを実際に活動し、最後に発信するという流れを実際に疑似体験するイベントを行う。

### ふるさと再発見プロジェクト

- ✓ バスツアーや年代別のマップの作成を行い、みらいキャンバスを起点として色々な所へ行けるようにしたい。
- ✓ 地元の良さや色々な場所に目を向けるきっかけにもなってほしいし、市外の方も蒲郡の良さに気づいてもっと訪れてほしい。

### がまうらライトアップ

- ✓ 駅から敷地までの道のり、特に線路沿いを通るルートが暗い雰囲気がある。
- ✓ 施設ができるまでに、道のりの中でマルシェをやったり、目につくアートを作ったりして、明るくしたい。

# 各チームの企画案（発表・ワークシートより）



## きんめだいチーム

### 蒲郡マルシェ

- ✓ 蒲郡ゆかりの方を呼んで対談、みかんの皮を使った遊び、ロープを使ったコサージュ作り、蒲郡の美味しいものの提供・飲食等、蒲郡しばりのマルシェを開催。

### ソフト・ハードの情報拠点

- ✓ 各家庭の防災ラジオを活用し発信。いずれコミュニティFMを開局、核を施設に置く。公開収録等で、元気な情報を知ってもらう。放送内容はアーカイブする。
- ✓ 各地に情報発信拠点と蒲郡本棚(ハードの拠点)を作る。海や、郷土の歴史、人物探訪等のテーマで本棚をつくり、まちなかや関連施設などにも本棚を設置する。

### フィールドワーク蒲郡

- ✓ 図書館での宿泊、星空観察、鉱物探索や魚釣りなどを、実際に現地に行って体験する。

# 各チームの企画案（発表・ワークシートより）



## するめいかチーム

### デジタル交換日記

- ✓ 学生で進路について悩んでいることが多いので、同じ学校にいた人同士でつながれる、情報交換ができる場所があったら良い。

### 蒲郡笑顔アルバム

- ✓ 市民活動をされている方等の活動時の笑顔等の姿をみれるアルバムが共有できれば良い。
- ✓ 蒲郡全体で共有でき、ホームページや新聞、チラシを作る時に、市民の人も使えるようなデジタルのアルバムとし、使えるものがみんなで共有できる。

### みらキャンユーザーのためのスマホアプリを開発する

- ✓ みらいキャンバスを便利に使うためのアプリ

# 各チームの企画案（発表・ワークシートより）



## たかあしがにチーム

### 敷地で活動や空間を感じるイベント！！

- ✓ 「施設でこんなことができる」を味わってもらうため、仮設のステージでの演奏会、子どもを対象にした読み聞かせや本の貸出、読書を行う。
- ✓ 飲食や市内の活動団体に出店してもらい、集まってもらった市民に施設のことを知ってもらう。

### 繊維の文化を伝える はぎれを使ったアート活動・ワークショップ

- ✓ はぎれを使ったアート活動等により、繊維のまちとして栄えた蒲郡の文化を伝える、継承する。

### オープンするまでのプロジェクトアイコン&キャッチフレーズ

- ✓ 施設の完成まで年数があるので、今からアイコン、キャッチフレーズを作り、市民への発信物に必ず入れて、知ってもらう。

# 各チームの企画案（発表・ワークシートより）



## めひかりチーム

### 子ども、若者、大人…みんなの居場所の選択肢をふやす

- ✓ 子どもたちだけでなく、大人も、外国籍の人もみんな居場所がない。活躍の場を見つけるなどして、みらいキャンパスが居場所の選択肢の一つになるようにする。

### 知っていること（蒲郡のこと、防災など）を共有（学びあい）し、若者から次世代へつたえる学びの循環

- ✓ 若者の活躍に向け、学び合いにより、若者が学んだことをもっと小さい子に伝える場所にする。防災、蒲郡の歴史等、知っているようで知らない、実は大事なことを一つ一つ学び合う場所とし、そして学んだことを子どもたちに伝える企画ができると良い。

### 他自治体の施設見学ツアー

- ✓ 先進事例をみんなで見学し、同じ情報を持っていろいろな企画を検討していきたい。

# なんでもアンケート、 事務局への意見

市民共創のプラットフォームに関する  
アンケートについては、後ほどお話しします！

### 「みらいキャンパス」第3回 市民ワークショップ アンケート回答より

#### 感想をどうぞ！

- 蒲郡市は70年目という歴史があり、そのことを知るこの大切さ、伝える⇔知るの大切さ！
- 未来の蒲郡についていろいろ思っていることがあって聞いてるだけで楽しかったです。
- 自分が考えなかったアイデアがでてきていいなと思っし、せっかくやるならば、自分たちが楽しんでやれるものになりたい。そしてそれが「蒲郡のため」になるなら最高だと思った
- 今までの振り返りができて、整理されてよかったです。グループで似た案もあったけど、全く思いもよらない案がたくさんあって新鮮でした。
- 1回目は参加して、2回目は欠席しました。前回の意見が1回目より大きく変わってましたが、そこから新しいアイデアを得られました。楽しそうな企画ができそうです。
- 皆さんとたくさんお話しできて楽しかったです。似た想いを持つ方と一緒にグループだった最後企画書に向けて1つのアイデアにまとめられたときは、達成感がありました。今、コミュニティサロン結という場所で、小さな規模ではありますが、同じような居場所のプラットフォームを作っています。その経験を生かしていけたらと思います。
- ほかの方が持つ悩み等聞けてとても勉強になりました。本日もとても楽しく話し合いができました。どの意見も素敵なアイデアいっぱいでした。自分のアイデアもグループメンバーやいる人なめてくださり、嬉しかったです。
- 難しそうだと思いましたが、自分の意見+皆さんの意見が加わってとても楽しそうな企画だと思います。
- 今日のおさりチームの参加者は3人だったので、もっと多くの人の意見を聞きたかったです。内容は充実してたと思います。
- 今日はやわらかい話し合いができてよかったです。何を話し合えばいいのかわかりやすくて出しやすかったです。
- 発言しやすい雰囲気、共通する意見が多くあって楽しかったです。
- 1、2回に比べて少し難しかったです。次回も難しそう。
- 市民共創の話が難しかったです。
- 楽しかったです
- 色々お話しできてよかった
- 和気あいあいでも楽しく学べました。
- だんだん具体的になってきて、おもしろかったです。
- 毎回アンケートの質問に答えていただき、ありがとうございます。
- 大変勉強になりました。
- だんだん具体的になってきて、おもしろかったです。
- GOOD

### 「みらいキャンパス」第3回 市民ワークショップ アンケート回答より

#### 言いそびれてしまったこと、今後の要望など、なんでもどうぞ！

- 西蒲駅が新しくなりましたが何かイベントが出来ることになりましたら観光客の方々の増加を目指したいです。西蒲に活気がほしいですね。
- グループでの話し合いでも出たのですが「みらいキャンパス」は、情報や人の集約される場だと思います。なのでここを作ると同時に、周囲の施設も使いやすく、ルールも施設自体も整備していく必要があると思います。特におやこ劇場の活動を通して場所の掘りこきを実感しているので、そこを何とかできるいいなと思います。
- 夢が広がるなと思う反面、用途が広すぎて（使いたい人が多すぎて）使いたいときに使えないのでは？という不安も感じました。
- 風呂、足湯を駅前につけてください。駅ナカビテラスのトイレをウォッシュレス、暖房トイレに「FM開局！！」実現したいです。
- どうしても面的にホールは無理でしょう
- せっかく学生さんが来てくれたのに、大人ばかり話してしまっし申し訳なかったです。
- 特に次回、経験がないと、学生さんも難しそう
- 人数は多くても少なくても、よい話し合いができると感じました。年代はバラバラだとやはり、いろんな意見や考えが聞けてよいと思いました。
- アイデアをある程度形にすることが一番大変だと思う。素人たちが集まって作り上げてくのは、とても労力が必要だと思う。専門的な人、また行政の方のサポートがあるとうれしいです。
- 9つの場というのがわかりやすかったです。しかし、質問でもあったように縦と横の3つの分け方「ステージ」「ひとりで」などがしぼりを強めて、わかりにくくさせているように感じました。また市民のための施設ですが、市内からすぐ近くに住んでいる人も利用すると思うので、そこまで視野に入れてほかの施設とのつながりも深まっていくといいと思います。
- 周りの声がガヤガヤすぎてチームの人の声が聞こえづらかったです。
- お菓子は各自に歌謡配布していたり、ファシリテーターから食べる姿を見せてくれると食べやすい雰囲気になると思いました（笑）
- どうしても面的にホールは無理でしょう
- 夢が広がるなと思う反面、用途が広すぎて（使いたい人が多すぎて）使いたいときに使えないのでは？という不安も感じました。
- 特に次回、経験がないと、学生さんも難しそう
- 周りの声がガヤガヤすぎてチームの人の声が聞こえづらかったです。

お手元に、アンケート結果もお配りしています。

## 【アンケートでいただいたご意見】

- 自分が考えなかったアイデアがでてきていいなと思っし、せっかくやるならば、自分たちが楽しんでやれるものになりたい。そしてそれが「蒲郡のため」になるなら最高だと思っし。
- 初めての参加で何もわからなかったんですが、グループの皆さんが優しく助けていただいたおかげで、とても楽しく参加することができました。色々な世代とかかわる機会がこれからもあるといいなと思います。
- 難しそうだと思っしましたが、自分の意見+皆さんの意見が加わってとても楽しそうな企画ができたと思います。

# 基本計画の進捗について

# 基本計画の現在地

- 前回、基本計画の進捗についてお話をしました（前回のスライドは、各テーブルに配布しています）。
- 現在は、事業者へのサウンディングを終え、第3回ワークショップまでの皆さんの意見や、事業者からの意見を踏まえて見直し、調整をしている段階です。
- アンケートで「こどもたちの意見を聞いてみたい」という意見が多かったことから、小学生のこどもたちにアイデアを聞いています。

# 蒲郡のこどもたちが総合的な学習の授業で みらいキャンバスについて一生懸命考えています！

- 中央小学校6年生が「ぼくらでつくろう『みらいキャンバス』」をテーマに取り組んでいます。「みんなが行きたくなる図書館」はどんな図書館かについて考え、7月中旬の授業で発表予定です。
- 蒲郡南部小学校4年生は「あったらいいな、こんな図書館」をテーマに取り組んでいます。「どんなスペースで、どんなことをしたいか」を考え、6月4日（水）の授業で1人ずつスペースの模型を作って表現しました。  
9月23日（火）から9月28日（日）までの期間、4年生の考えたスペースを蒲郡市立図書館で展示します！

# 蒲郡南部小学校での様子



# 市民共創プラットフォームについて

# みらいキャンパス基本構想における「共創」

## がまごおり「みらいキャンパス」

市民が

憩い・つながる 学び・体験する 発信・表現する

『共創空間』

自由な居場所であるとともに、蒲郡の多様なヒト・モノ・コトが  
出会い、つながる

憩い・つながる場  
<みらいスペース>

新たな知識・情報・経験に触れ、「知りたい」学び  
「やってみたい」活動を深め、高めていく

知の拠点  
<みらいスタジオ>

学び、活動したことを発信や表現によって人に  
伝えて、学びが循環し、一人ひとりがかがやく

発信・表現の舞台  
<みらいステージ>

基本理念は「共創」と定め、  
市民の心豊かな暮らしに繋ぐことを目指します。

施設コンセプトは、

がまごおり「みらいキャンパス」

憩い・つながる場 <みらいスペース>

知の拠点 <みらいスタジオ>

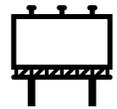
発信・表現の舞台 <みらいステージ>

上記3つの基本的な役割が互いに作用し

「融合・循環」することで、市民が「みらい」を描くことができる「共創空間」を構築します。

# 市民のやりたいことから、みらいキャンバスは生まれます

おしえる、えんそうする、えがく、かたろう、よむ…



市民のやりたいことを  
機能や空間計画に生  
かす

スペース

設え

空間

機器

備品

etc

みらいキャンバスで市  
民がやりたいことを  
集める

キャンバスが出来上がる前から  
やりたいことを実際にやってみ  
る=その活動がみらいキャン  
バスの機能へとつな  
がる



みらいキャンバス

# それには助走するための共創プラットフォームが必要

- 市民が「やりたい！」と思ったことを開館前から実際にやってみて、開館後の施設のサービスへとつなげられるような、市民共創のプラットフォームを作る



# アンケート、 グループワーク結果

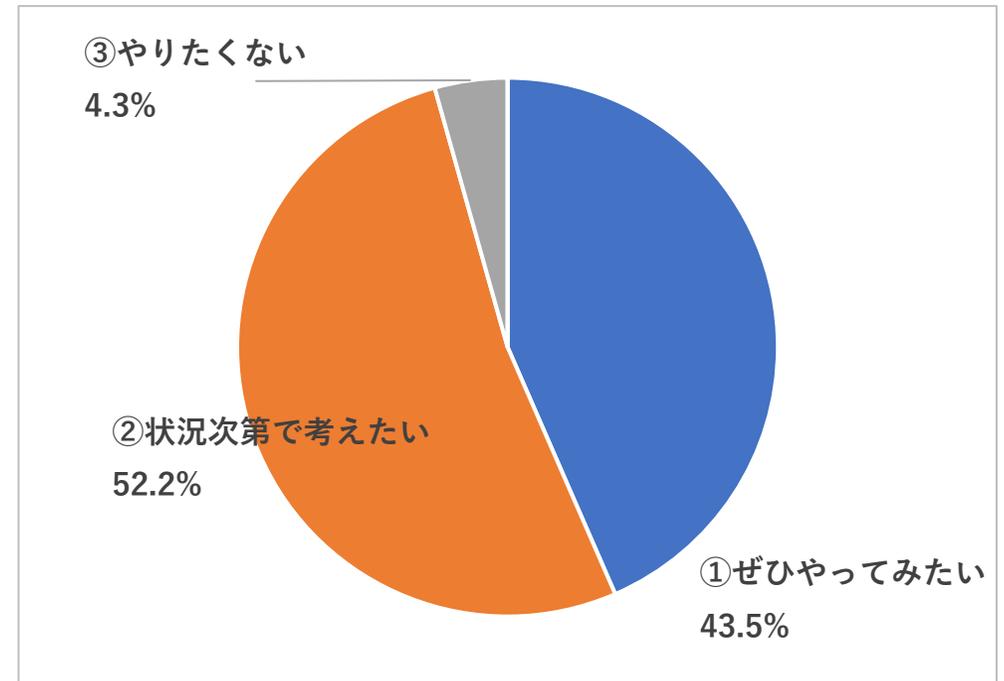
# 第3回ワークショップアンケート結果

※回答者 23人

## Q1市民共創のプラットフォームでの活動が始まったら参加したいと思いますか？ (1つに○)

- ✓ 「ぜひやってみたい」理由：実現してほしい企画がたくさん出たので、関わりたい／自分の活動にかかわることで、「みらいキャンバス」に繋がることはぜひやってみたい／大きな施設ができるまでの過程に関わりたいなど
- ✓ 「状況次第で考えたい」理由：自身の仕事や家庭との兼ね合い など

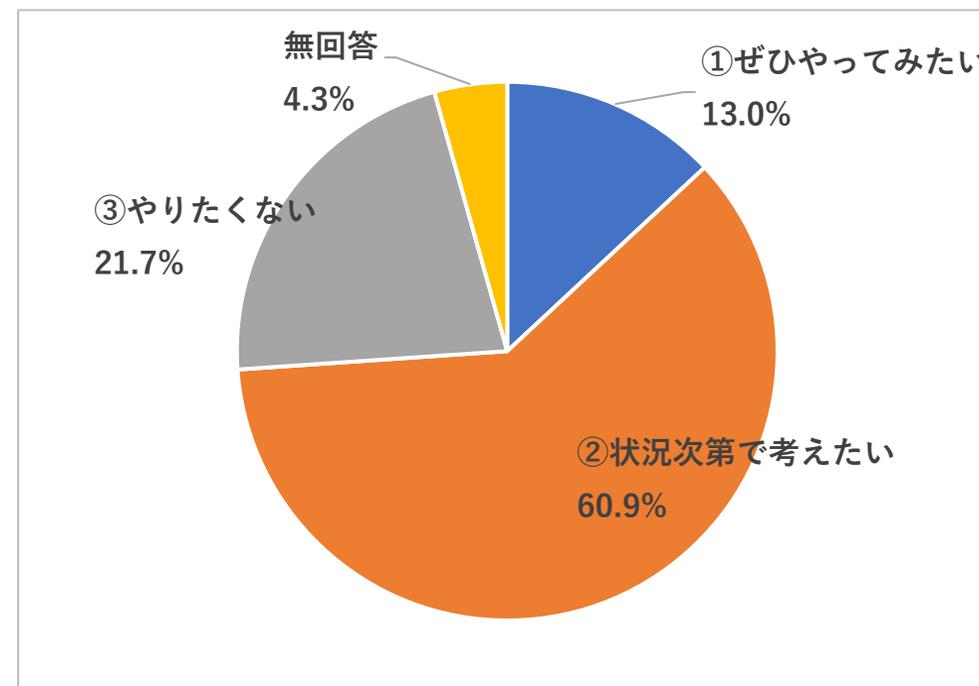
→二つ合わせて**95.7%**



## Q2チームリーダーに挑戦してみたいと思いますか？（1つに○）

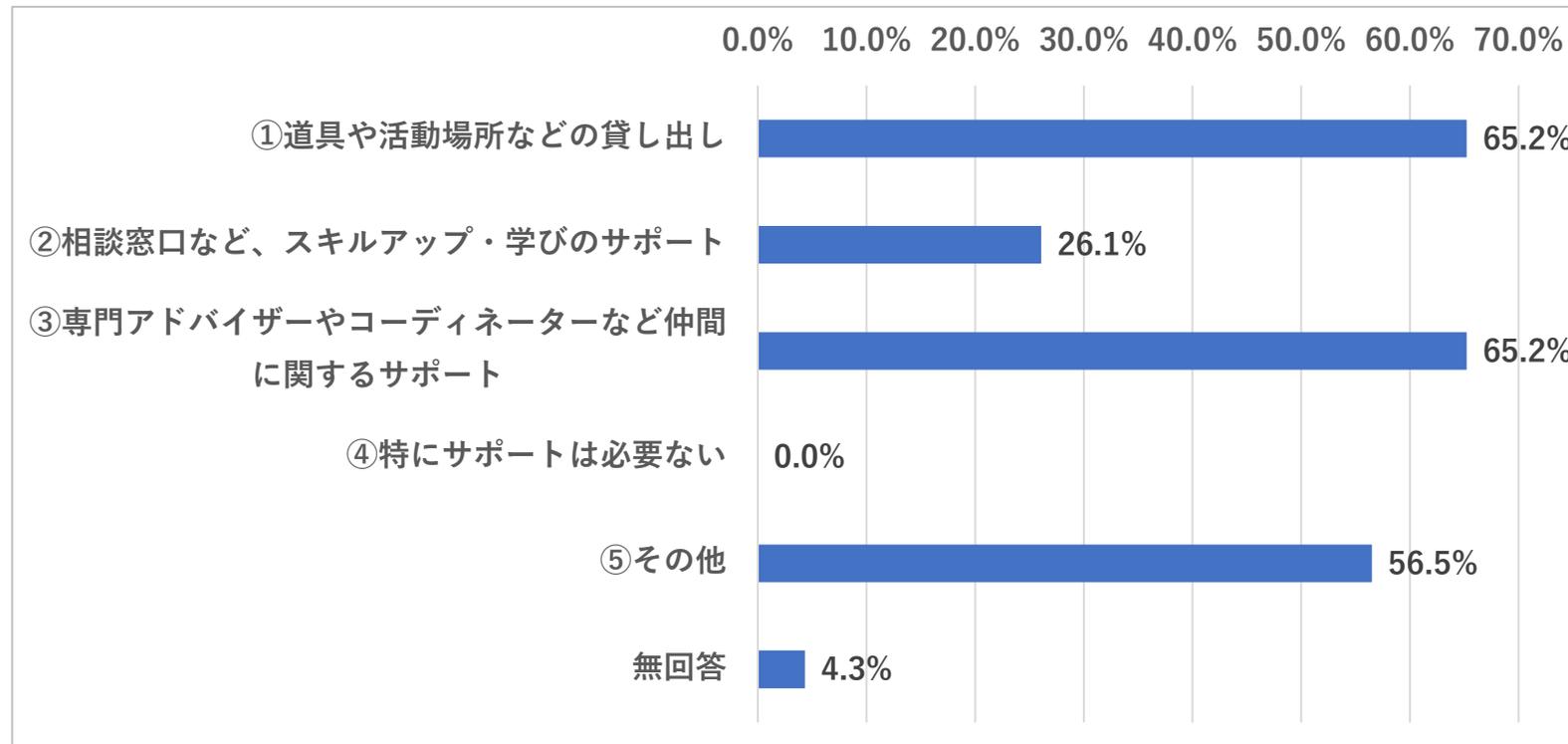
✓ 「状況次第で考えたい」理由：まだ全体的なイメージが明確ではないので、もう少しやってみよう中で考えたい／どの程度の責任感なのか／みんなで勉強／複数リーダー など

→ **73.9%** ちなみにぜひやってみたいも **13.0%**  
いらっしゃいます



## Q3市民共創のプラットフォームにおいて、こういったサポートがあると活動しやすいと思いますか？（あてはまるものすべてに○）

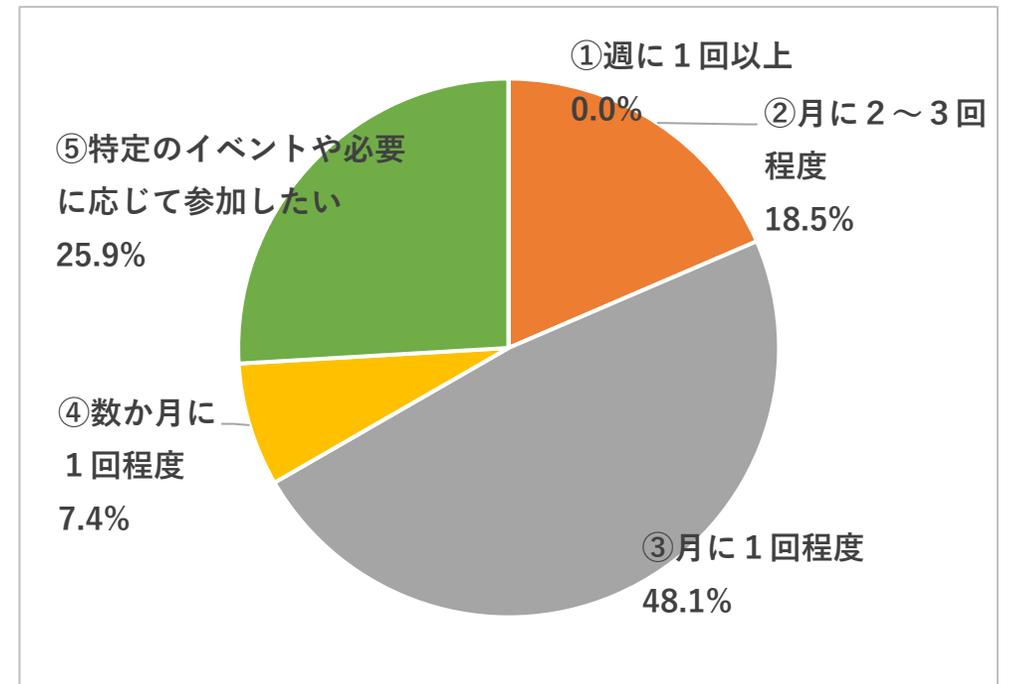
- ✓ **道具**や**場所**の貸出 **65.2%**
- ✓ **仲間**に関するサポート **65.2%**
- ✓ 「その他」 **56.5%**の具体的な内容：**情報収集**や**情報発信**を手伝ってほしい／**デジタル技術を学ぶ**機会／**定期的に見守る人**／**助言**してもらったりしたい など



## Q4参加する場合、どのくらいの活動頻度が望ましいですか？（1つに○）

✓月に1回程度 **48.1%**

✓特定のイベントや必要に応じて参加 **25.9%**



## Q5市民共創のプラットフォームに関して、そのほか、みなさんの思ったこと、自由にお聞かせください！

✓活動のアイデアを実現させるための**骨組みづくり**が1番大事だと思うし、大変/**ビデオ通話**もしくは**LINEオープンチャット**など文字だけで済む内容であれば利用する など

# アンケート、グループワークから…

- ✓ 参加意向としては、**前向き**な意見が多い
- ✓ 拠点に関する意見が多い。**敷地にも近く**て立ち寄りやすい、**気軽に集まれる**場所が欲しいといった**活動拠点を求める意見が多い**
- ✓ サポートとして、**道具や活動場所などの貸出**、専門アドバイザーやコーディネーターなど**仲間に関するサポート**へのニーズが高い
- ✓ 関わり方については、自身の仕事や家庭との兼ね合い、**ゆるいつながり**を求める意見も多い
- ✓ 情報共有があると、休んでいても次から参加できるという意見があった。手段としては、LINE**オープンチャット**やオンライン会議など
- ✓ 費用については、資金繰りが懸念



**まずは気軽に集まりやすい拠点づくりから！**

敷地にも近くて立ち寄りやすい／道具や活動場所などの貸出がある／人がいる

**市民共創プラットフォーム  
(拠点) を立ち上げてみよう！**

# PURPOSE：活動を計画や設計に活かす

- ✓ 基本計画で検討した事業・サービスや開館後にやりたい活動等を実際にやってみる場を設け、**様々な活動に取り組む**ことで成果や課題が具体的になり、このあと作成する**管理運営計画や設計等に活かすことができる**ため

例：共創機能→市民自ら企画を出して、講座を実施

市民が参加できる情報発信の仕組みをスモールスタートで実施

図書館機能→市民の「やりたい」を支援する本がある空間作りに向けて、

選書や棚づくりに挑戦

- ✓ 「みらいキャンバス」の開館前から、**継続して活動を行う**ため

# LOCATION : GAMAKITA-BASE



Google Map

[https://www.instagram.com/gamakitaikka\\_shotengai/](https://www.instagram.com/gamakitaikka_shotengai/)

- ✓ 蒲郡駅北商店街に位置し、みらいキャンパス建設予定地からも近接。元々八百屋であった一軒家を東港地区まちづくりプロジェクト会議分科会駅北商店街活性化チーム「がまきたいっか」で借りている
- ✓ 平日（月・火・木・金）10時～14時は弁当屋に貸出し、月2回程度がまきたいっかの会合を実施



- ✓ 敷地や駅にも近くて立ち寄りやすい
- ✓ 既に活動基盤がある
- ✓ 東港地区まちづくりプロジェクトとの連携の可能性有

がまきたいっかさんと交渉中！

# CONTENTS：あつまる×つくる×しる

打ち合わせをする場所があって



活動・創作する道具があって



知るための本がある



がまきたベースには  
打ち合わせスペースがあります！

まずは試験的に週1日～👤くらいの  
オープンを目指します！

皆様のご意見を元に  
デジファブ、アナログの道具を  
用意します！  
(もちろん限りはあります！)

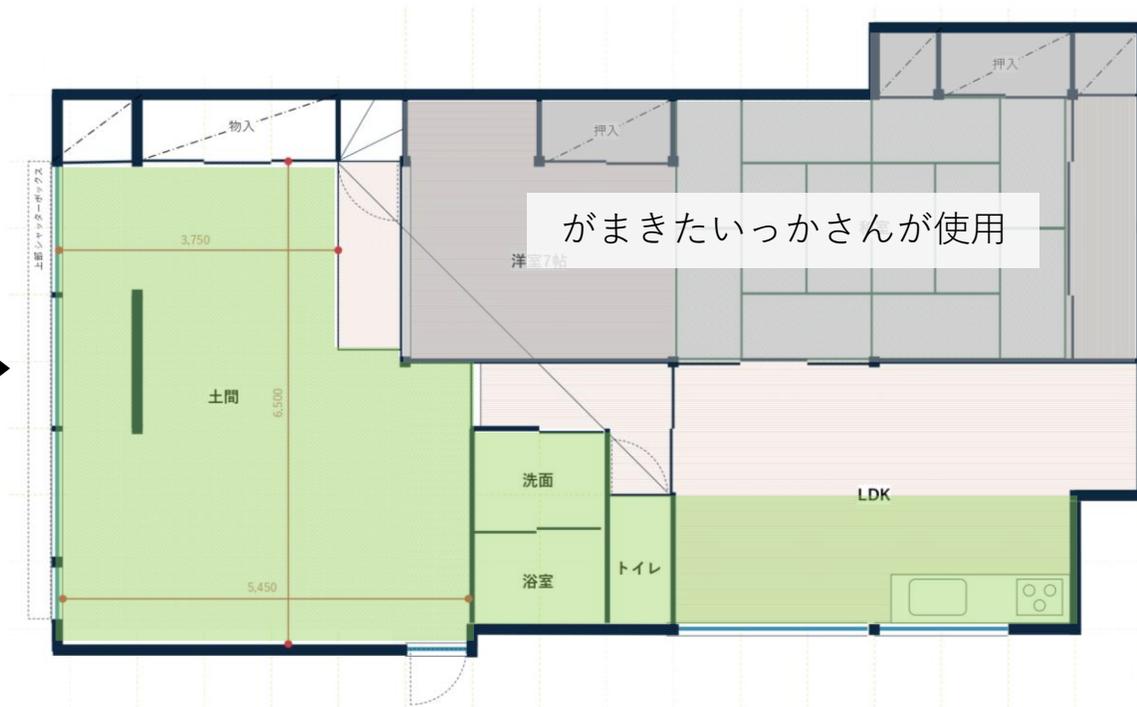
まずは100冊程度の本を用意し、  
ライブラリーとしても開設。  
活動のための情報を  
入手するのはもちろん、  
フラットに入れる空間へ

# FLOOR PLAN：がまきたベース2Fで主に活動

※現在はがまきたいっかさんが月2回程度活動  
※現在の想定で、今後変更の可能性があります

1F

中央通り



<色々な活動がまじりあって使う場>

がまきたいっかさんとの共用

例えば：

平日昼→お弁当屋さん

2F (メインの活動場所)



<集まって活動する場>

例えば：

まちライブラリー、市民共創プラットフォームについて話し合う場、イベントに向けた作業場

# 今のがまきたベースの様子

1F：土間（共用）

がまきたいっかさんで  
活用方法を検討中！

2F

市民共創プラット  
フォームのメイン活動場所



土間（洗面所側）の様子



洋室（7帖）の様子



和室（10帖）の様子



土間（収納側）の様子

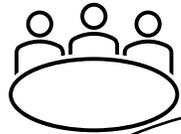


和室（4.5帖）の様子



洋室（3帖）の様子

# OPERATION：組織体制



## 事務局（市＋事業者）

- 全体運営
- 市民活動サポート
- マッチングサポート

運営

プロジェクト進行  
サポート



興味のある他市民との  
マッチング



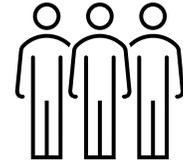
アドバイス、情報提供



## プロジェクトA



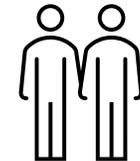
チームリーダー



## プロジェクトB



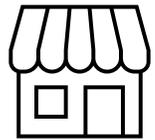
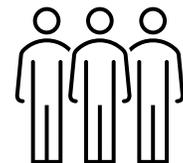
チームリーダー



## プロジェクトC

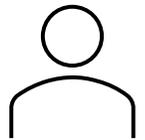


チームリーダー



## 共創のための「拠点」

- ✓ 活動拠点として場所を提供
- ✓ 道具などの貸出
- ✓ 専門アドバイザーやコーディネーターによる活動サポートを実施



アドバイザー

週1日～駐在し、気軽に  
集まれる場をつくる

# OPERATION：参加メンバー連絡・情報共有方法

- ✓ハードルの低い参加方法や、ゆるいつながり、情報共有の場が求められている
- ✓第4回ワークショップ後の情報発信や、「拠点」の準備をする間も情報共有ができる仕組みが必要



まずは、みらいキャンバス公式LINEアカウント、  
みらいキャンバスInstagramで情報発信をします！

※プロジェクトごとの連絡手段は、本格始動後各プロジェクトにて検討



↑みらいキャンバス公式LINE

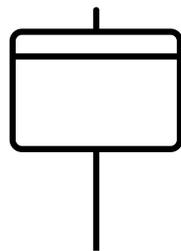
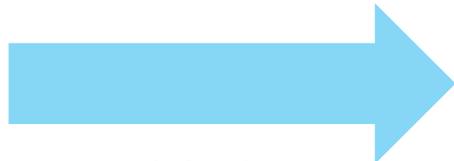


↑みらいキャンバスInstagram

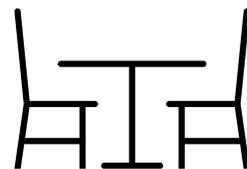
# 第1弾として、みんなで「拠点」を立ち上げよう！



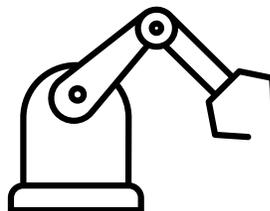
それを  
「拠点」で実現するために



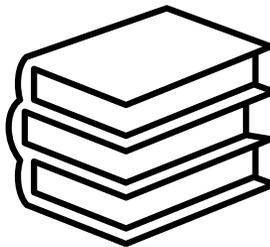
①そもそも  
「拠点」の名前は何にしよう？



②こんな家具・備品をつくろう



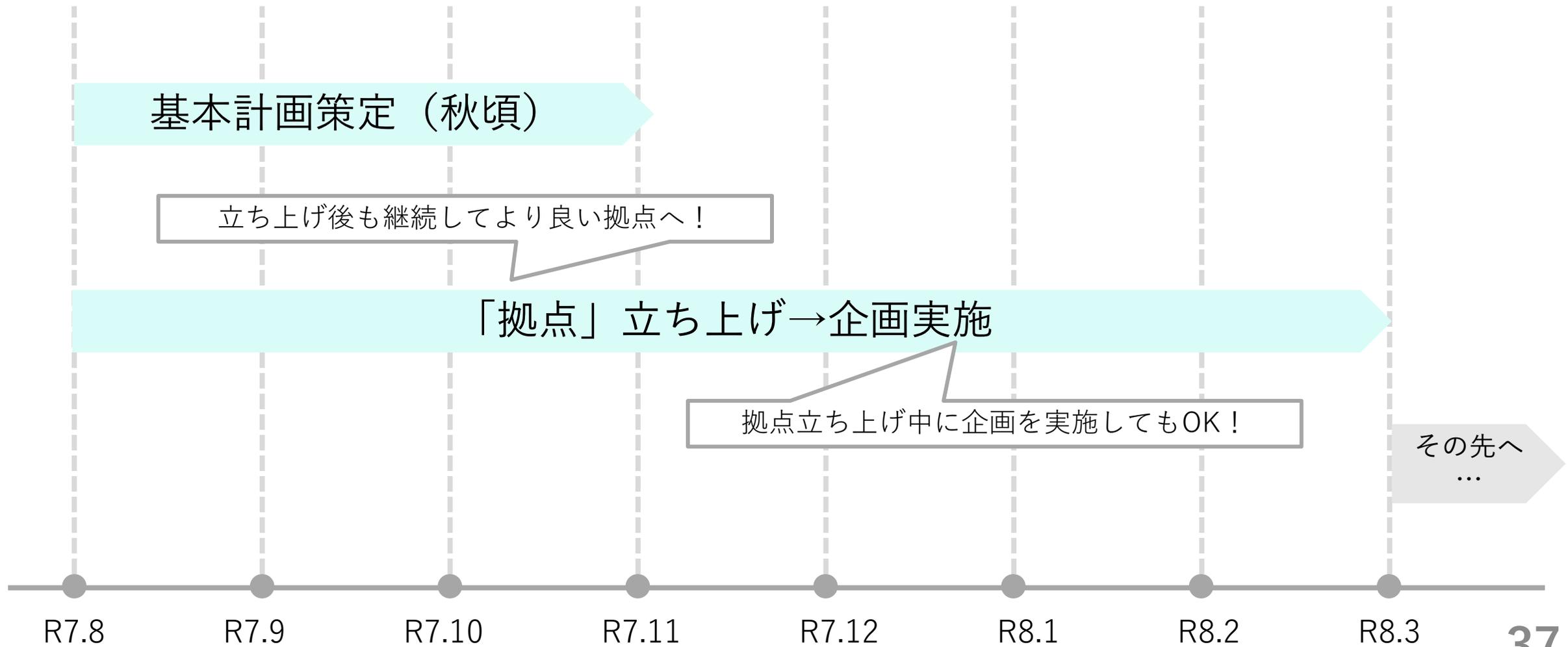
③こんな道具が欲しい



④こんな本・資料が欲しい  
(100冊程度の見込)

※もちろん寄付も**大歓迎!**

# 今年度のスケジュール（想定）



# 今日のワーク

- DRAW YOUR CANVAS ! 2 やりたいことをプランにしてみよう -

**第4回は企画書の作成 +  
「拠点」立ち上げの序章に…**

# 第4回のテーマ

第3回

企画書にする、「この施設やまちでやってみたいこと」を選ぶ

第4回

①企画書の作成！ ②「拠点」立ち上げ準備のための話し合い！

①企画書内容発表！

その後

②「拠点」開設準備！

拠点スタート！

「拠点」を通じて実際に活動をスタート！

# 今日（第4回）のテーマ①

みらいキャンバスでやってみたいことを  
プランにしてみよう！



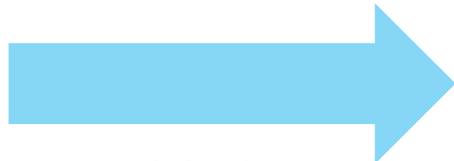
# 今日（第4回）のテーマ②

「拠点」を立ち上げよう！

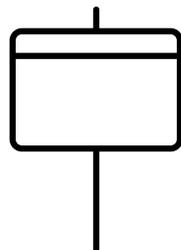
# 「拠点」を立ち上げるにあたって…



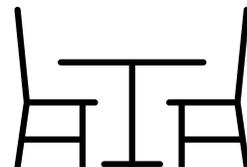
WSで考えた企画



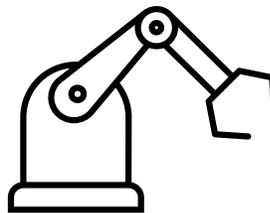
それを  
「拠点」で実現するために



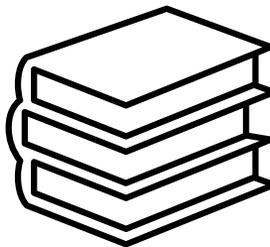
①そもそも  
「拠点」の名前は何にしよう？



②こんな家具・備品をつくろう



③こんな道具が欲しい



④こんな本・資料が欲しい  
(100冊程度の見込)

※もちろん寄付も**大歓迎!**

# グループワークの進め方

(1) | 3回目の振り返り

(2) | 企画書の作成

(3) | 「拠点」について話し合い

(4) | 全体発表

## (1) | 3回目の振り返り

3回目のワークショップのワークシートをお配りしています。

ご自身のグループで話し合った内容を振り返ってみましょう。



## (2) | 企画書の作成

3回目に選んだ企画案について、企画書を作成します。

- 1グループ3個まで企画案を選びましたが、3個全てについて企画書を書ききらなくても良いです。具体的に考える中で「うまく進まない…」といった場合は1個でもOKです。
- 企画名は、A3用紙にも記載してください。

【みらいキャンパス】市民共創のプラットフォーム 活動企画書

作成日  
団体名

1.企画名(タイトル)

2.企画の目的・背景

3.企画内容

【具体的な活動内容】

【ターゲット層、想定参加人数】

【広報・集客方法など】

【実施場所】  
■開館前  
■開館後

あさり チーム

企画名①

企画名②

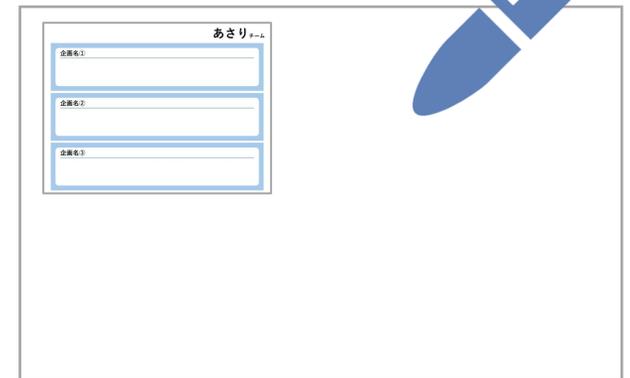
企画名③

### (3) | 「拠点」について話し合い

企画書を実現するためにどういう「拠点」だと良いか、グループで話し合います。

#### 考える項目

- 拠点の名前
- 家具・備品
- 道具
- 本・資料
- そのほか、企画書の実現のために「拠点」にあってほしいもの



The image shows a template for an A3 paper. It features a header area with the text 'あさり' (Asari) and a small icon of a pen. Below the header, there are three horizontal lines labeled '企画名1', '企画名2', and '企画名3' (Project Name 1, 2, and 3). The rest of the page is blank, intended for writing notes or opinions.

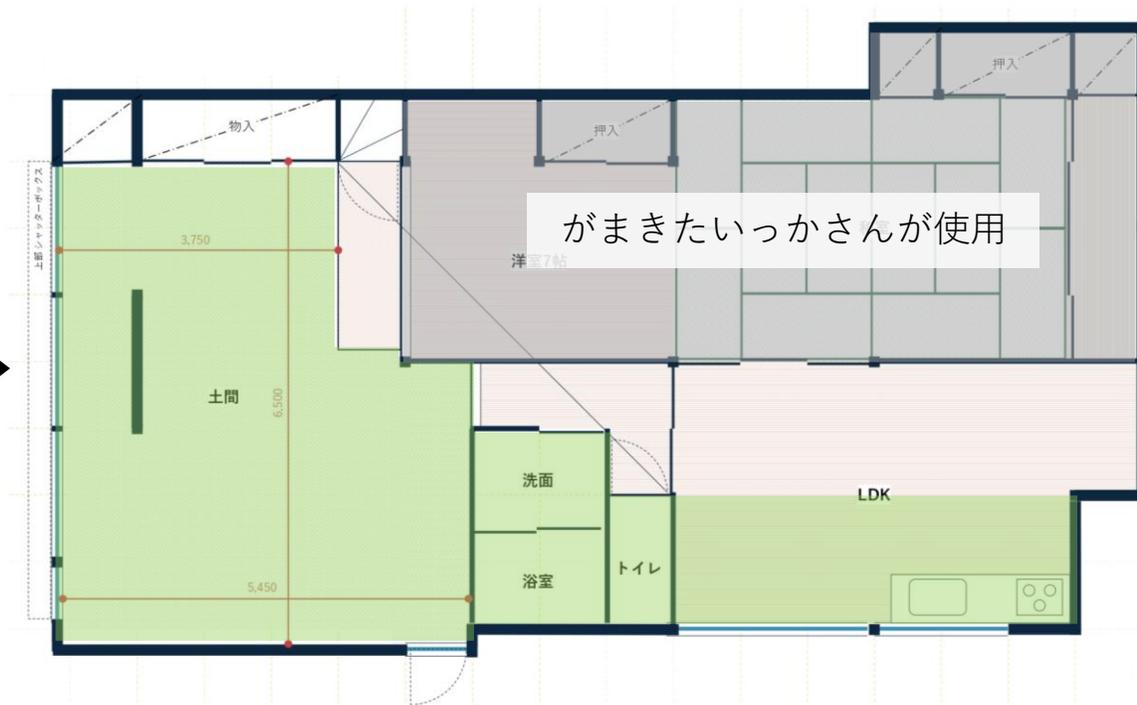
- 各グループに配布した模造紙の左上に、企画名を書いたA3用紙を貼ってください。
- 余白は意見や話し合ったことを書きこむなど、自由に使ってください。

# FLOOR PLAN：がまきたベース2Fを主に活用

※現在はがまきたいっかさんが月2回程度活動  
※現在の想定で、今後変更の可能性あります

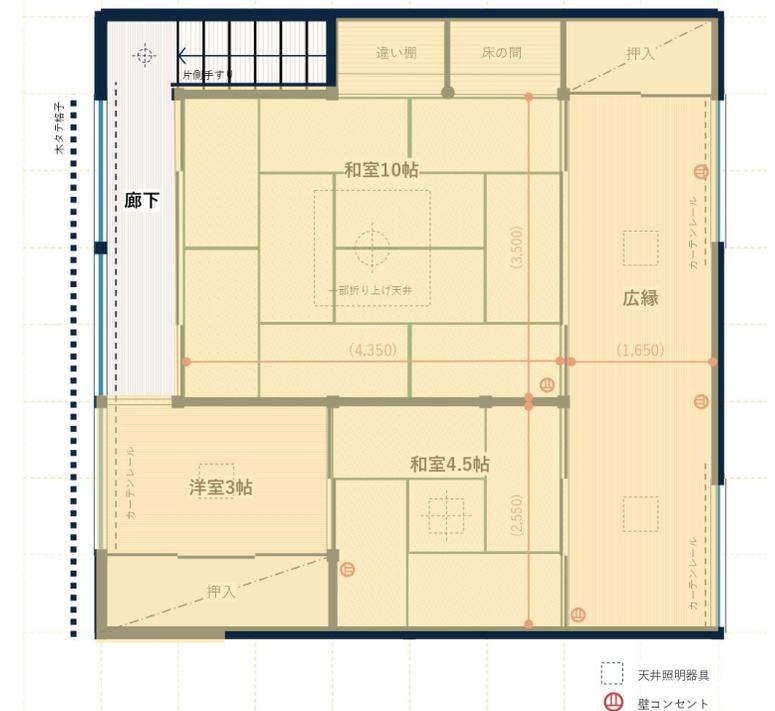
1F

中央通り



<色々な活動がまじりあって使う場>  
がまきたいっかさんとの共用  
例えば：  
平日昼→お弁当屋さん

2F (メインの活動場所)



<集まって活動する場>  
例えば：  
まちライブラリー、市民共創プラットフォームについて話し合う場、イベントに向けた作業場

# 今のがまきたベースの様子

1F：土間（共用）

がまきたいっかさんで  
活用方法を検討中！



土間（洗面所側）の様子



土間（収納側）の様子

2F

市民共創プラット  
フォームのメイン活動場所



洋室（7帖）の様子



和室（4.5帖）の様子



和室（10帖）の様子



洋室（3帖）の様子

## (4) | 全体発表

最後に、グループの代表者にグループワークの成果を発表していただきます。

### 発表すること

【テーマ①みらいキャンバスでやってみたいことをプランにしてみよう！】

- 企画書の内容
- アピールポイント など

【テーマ②「拠点」を立ち上げよう！】

- 企画書を実現するために、「拠点」に必要なだとグループ内で考えたこと など



# ワークショップのお約束

は

恥ずかしがらずに、どんどん書いてみる、出してみる。

ひ

否定しない！自分と違った意見も、それもあるね。

ふ

ふせん1枚に一意見。なるべく沢山、なるべく短く。

へ

へえ！それ、いいね！真似してOK！便乗して発想を広げる。

ほ

他の人・グループの意見を聴く、褒める。

# アイスブレイク

-自己紹介-

# 100の質問



パッと開いたページの質問を、  
時計回りに隣の人に聞いてみよう

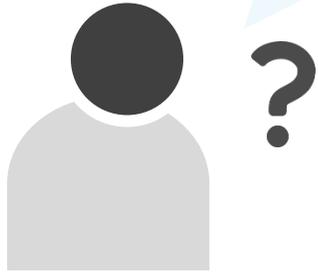


本を開いて質問する

質問への回答

ついついやってしまうくせは？

ついついやってしまうのは…



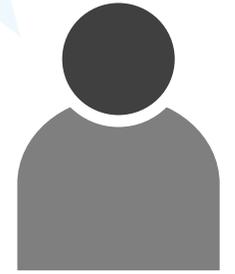
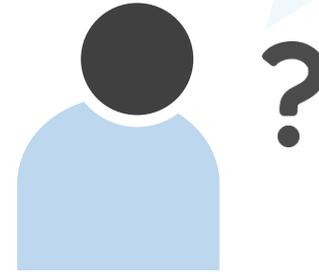
質問したら、本を手渡す

答えたら、  
次の人に質問する

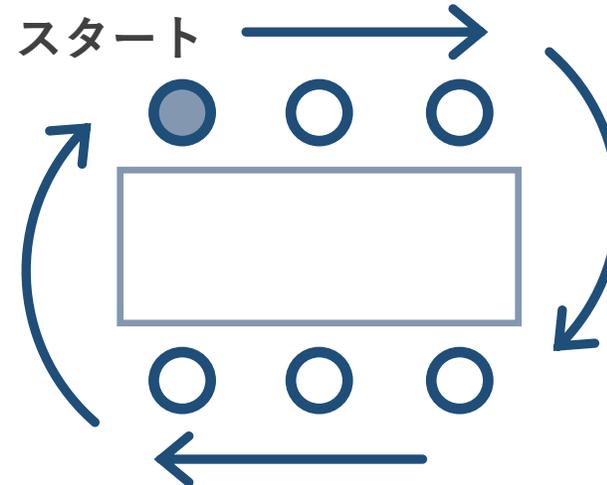
以降、繰り返し

できるように  
なりたいことは？

…

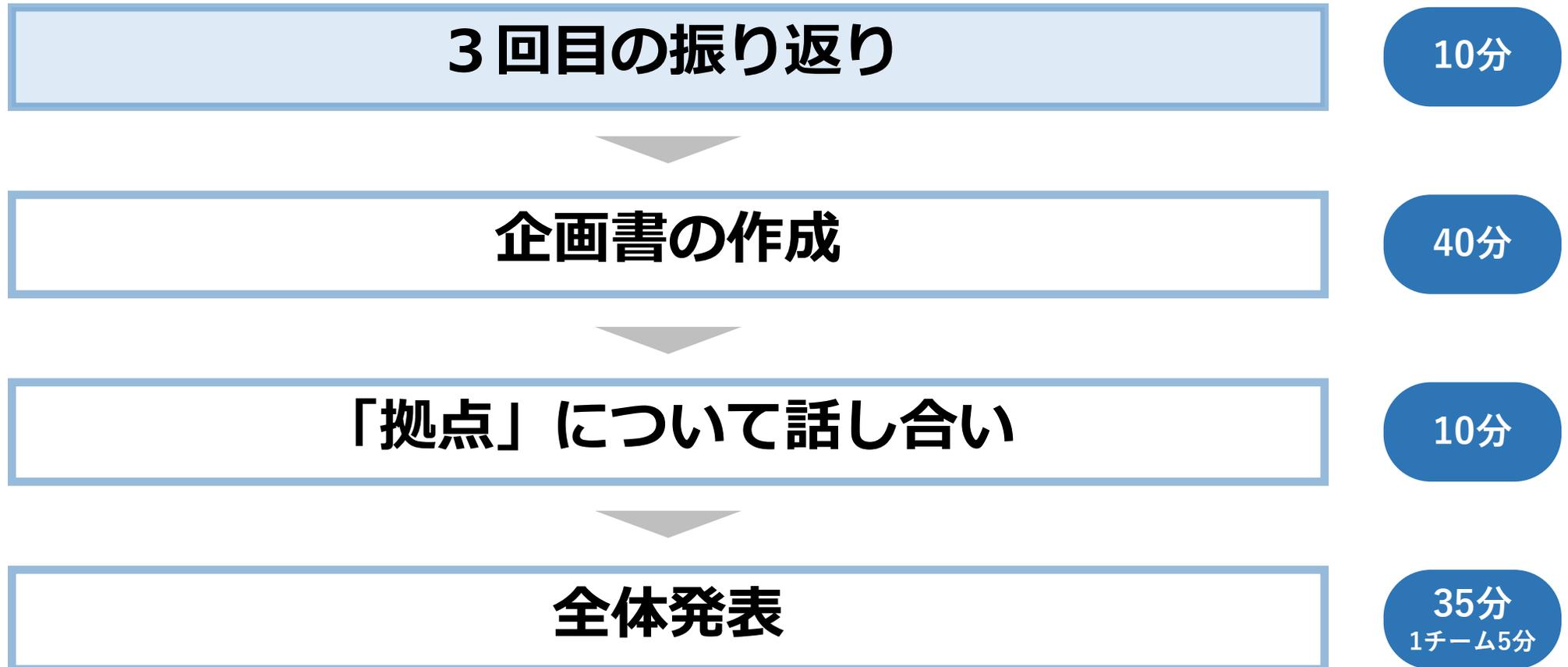


スタート



時計回りに  
一周する

# グループワーク



# グループワーク



3回目の振り返り

10分



企画書の作成

40分



「拠点」について話し合い

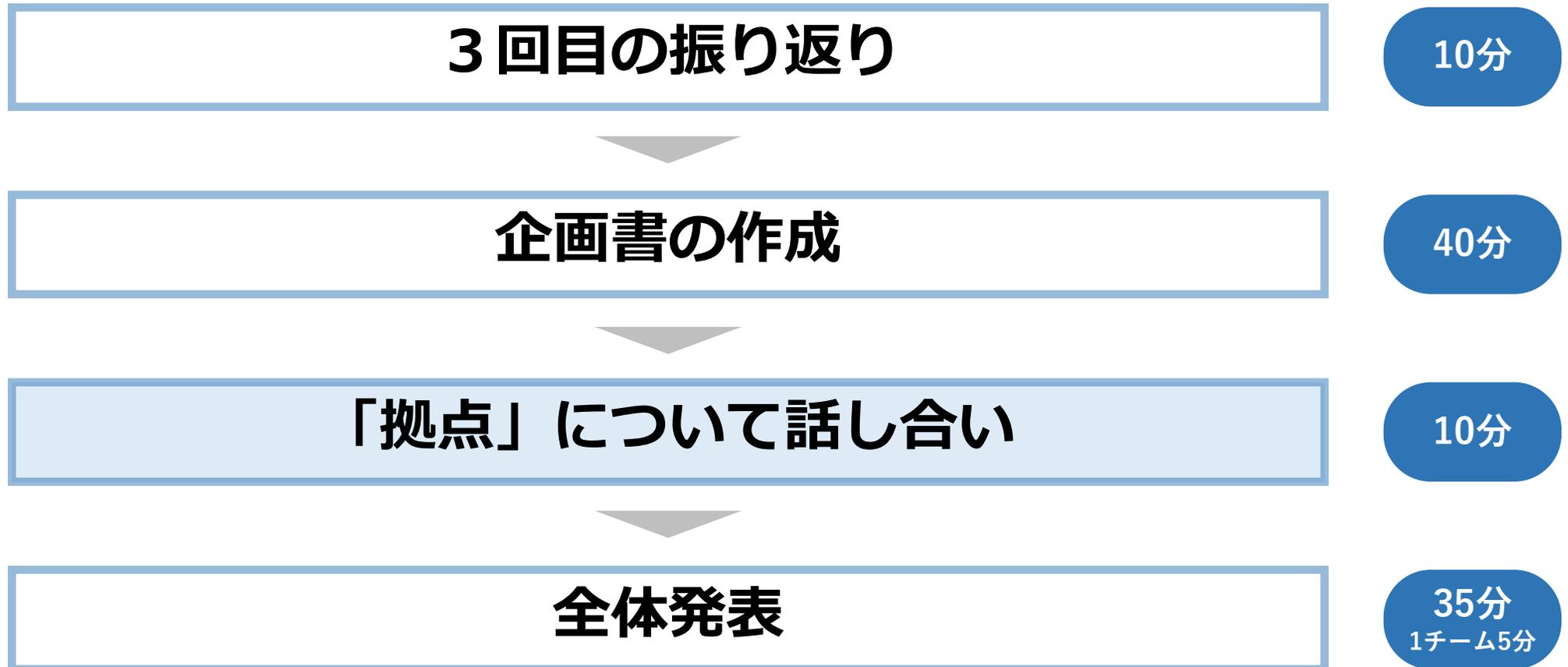
10分



全体発表

35分  
1チーム5分

# グループワーク



# 休憩

15：50まで

# グループワーク



3回目の振り返り

10分



企画書の作成

40分



「拠点」について話し合い

10分



全体発表

35分  
1チーム5分

# 今後のスケジュール

- 基本計画は秋頃策定予定です。  
別途、市民の皆さまへご説明する機会を設けたいと考えています。
- 次は管理運営計画の検討に入ります。引き続き、市民の皆さまと一緒に創り上げていきたいと考えています！
- 「拠点」については、今日の内容を踏まえて、立ち上げの準備を進めます。
- みらいキャンバス公式LINEアカウント、みらいキャンバスInstagramで随時お知らせ等を発信していきます。  
ぜひ友だち追加、フォローをお願いします！

ご記入頂いたアンケートは受付で  
スタッフへお渡ししてください。

**おつかれさまでした！**

全4回へのご参加、ありがとうございました。お気をつけてお帰りください。